

もり
北の森林
国有林

写真：フキノトウ（野幌自然休養林）

今月のトピック

・平成 29 年度治山・林道工事コンクール

3

平成 30 年

No. 27



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

受賞おめでとうございます

平成29年度 治山・林道工事コンクール表彰式

3月1日、北海道森林管理局において「平成29年度治山・林道工事コンクール表彰式」を行いました。



新島局長からの主催者挨拶

前年度に完成した工事を対象として構造物の仕上がり状況、施工管理、安全管理等を総合的に評価し、優れた工事を表彰するもので、施工技術の向上について関係者の意欲高揚・技術の研鑽を図るため毎年開催しています。

本年度の審査対象件数

については治山工事50件、林道工事37件の工事を審査対象として、審査を行った結果、僅差でしたが現地に応じた工種の工夫・仕上りの良さなど品質確保・自然環境への配慮などに努めたことを評価し、優秀工事として林野庁長官賞7件、優良工事として北海道森林管理局長賞10件の特に優れた工事を表彰しました。

また、林野庁長官賞を受賞した工事を担当した主任(監理)技術者・現場代理人及び監督職員へ北海道森林管理局長賞を授与しました。

なお、林野庁長官賞の表彰式は2月21日に林野庁において行われました。(治山課・森林整備第二課)



石原森林整備部長からの審査委員長審査報告



渡辺建設株式会社代表取締役 渡辺様からの受賞者挨拶

受賞工事

【林野庁長官賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	胆振東部森林管理署	とびうがわ 飛生川治山工事	岩倉建設株式会社
治山	宗谷森林管理署	ウロンナイ川治山工事	株式会社飯島組
治山	網走中部森林管理署	にいらがわ 仁倉川治山工事その2	佐藤林業株式会社
治山	十勝西部森林管理署	カジヤの沢(1144林班)治山工事	栗林建設株式会社
林道	空知森林管理署	前田の沢循環林道(林業専用道)新設工事	北宝建設株式会社
林道	北空知支署	かみぬまうし 上沼牛1号支線林道(林業専用道)新設工事	株式会社廣野組
林道	網走西部森林管理署	かみむり 上武利林道ソケツピラ線(林業専用道)新設工事	株式会社渡辺組

【北海道森林管理局長賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	日高北部森林管理署	みつし 蜜石の沢治山工事	株式会社五十嵐工業
治山	上川中部森林管理署	とからだけ 十勝岳その2治山工事	新谷建設株式会社
治山	西紋別支署	もんべつ 紋別海岸施設災害復旧工事	興和建設株式会社
治山	渡島森林管理署	もりひめかわ 森姫川地区(下流域)治山工事	渡辺建設株式会社
林道	石狩森林管理署	かなやま 金山林道外改良工事	株式会社五十嵐工業
林道	北空知支署	せきゆざわ 石油沢林道改良工事	株式会社野田組
林道	網走中部森林管理署	こうざん 鉦山の沢林道災害復旧工事	興和建設株式会社
林道	十勝西部森林管理署	2085林班線林道(林業専用道)新設工事	徳井建設工業株式会社
林道	根釧西部森林管理署	みなみおもないやま 南重内山林道(林業専用道)新設工事	東星渡部建設株式会社
林道	渡島森林管理署	かみくぬいがわ 上国縫川林道(林業専用道)新設工事	田島緑地前川コラボレーション株式会社

高い技術力を持ち、安全でかつ優良な工事を施工されていることに対し、心から敬意を表します

主な受賞工事

北海道森林管理局長賞

治山工事

【工事名】

森姫川地区（下流域）治山工事

【工事概要】

本流の国有林境界直下には「姫川頭首工」が配備されており、地域住民の利水施設として重要な役割を担っていることから、この施設を念頭に置いた治山対策を行った工事です。



流路工を併用した木製校倉式床固工

バックモニター付バックホウを使用して後方視界を確保することにより

林道工事

【工事名】

2085林班線林道（林業専用道）新設工事

【工事概要】

バックホウのバケットを羽根付き加工することにより切土法面の作業効率の向上を図り、かつ、



人工林にアクセスしやすい林業専用道

バックモニター付バックホウを使用して後方視界を確保することにより

誘導員の負担軽減および安全面への配慮し、出来形・品質ともに良好に施工されていたことなどが高い評価を受けました。



受賞者のみなさん

主任（監理）技術者
現場代理人

林野庁長官賞受賞工事7件のうち、治山の部で2件、林道の部で2件において、工程管理・品質管理など各段階で高い技術力と管理能力が発揮さ

れたものと認め、特に施工管理が優れているとして授与しました。今後も技術の研鑽に努め

られ、品質の高い施工に努めていただくようお願いいたします。

【北海道森林管理局長賞 主任（監理）技術者・現場代理人表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
治山	宗谷森林管理署	ウロンナイ川治山工事	株式会社飯島組 三浦 和也
治山	網走中部森林管理署	にくらがわ 仁倉川治山工事その2	佐藤林業株式会社 高田 峰人
林道	北空知支署	かみめまうし 上沼牛1号支線林道（林業専用道）新設工事	株式会社廣野組 山本 健二
林道	網走西部森林管理署	かみむり 上武利林道ソケツピラ線（林業専用道）新設工事	株式会社渡辺組 水野 靖裕
林道	網走西部森林管理署	かみむり 上武利林道ソケツピラ線（林業専用道）新設工事	株式会社渡辺組 甲田 尚宏

【北海道森林管理局長賞 監督職員表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
治山	胆振東部森林管理署	とびらがわ 飛生川治山工事	農林水産技官 小川 洋平
治山	宗谷森林管理署	ウロンナイ川治山工事	農林水産技官 出野 伸明
治山	網走中部森林管理署	にくらがわ 仁倉川治山工事その2	農林水産技官 上原 徳貴
治山	十勝西部森林管理署	カジヤの沢（1144林班）治山工事	農林水産技官 桐山 博行
林道	空知森林管理署	前田の沢循環林道（林業専用道）新設工事	農林水産技官 青砥 一貴
林道	北空知支署	かみめまうし 上沼牛1号支線林道（林業専用道）新設工事	農林水産技官 松藤 信人
林道	網走西部森林管理署	かみむり 上武利林道ソケツピラ線（林業専用道）新設工事	農林水産技官 鈴木 啓之

地域課題の解決に向けた取組

むかわ町地域主体の一体的な森林づくりの取組

胆振東部森林管理署

はじめに

当署は、胆振地方の一市二町にわたる国有林63千ヘクタールを管理しています。今回はこのうち、むかわ町における民有林と連携した取組を紹介します。

むかわ町は太平洋に注ぐ一級河川「鶴川」の中下流に位置し、「ししゃもの町」として名を知られており、昨年はハドロサウルス科の恐竜化石（むかわ竜）の発掘でも話題となった地です。森林は、町面積のおよそ8割を占め、水資源の確保、漁場環境の保全、雇用の場の創出、災害の防止など様々な形で、地域の発展に寄与しています。

三者による森林づくりの協定

こうした中、むかわ町、北海道胆振総合振興局、当署の三者が連携して、①流域が一体となった森林の整備・管理、②森林資源の循環利用、③木育の推進の3点について、地域の振興・再生に貢献することを目的として、平成28年3月に「む

かわ町における地域主体の一体的な森林づくり」の協定を締結し、鶴川流域が一体となった循環型の森林づくりを進めることとしております。



共同施業団地内での現地検討会

このうち「流域が一体となった森林の整備・管理」の取組では、むかわ町においてもエゾシカの被害は深刻で、平成28年の農業被害額はおよそ98百万円に及んでいます。このため、被害防止対策として当署が林道の除雪と餌撒きを行い、町では捕獲とその後の回収・処分を行うこととしており、その効果が期待されているところです。

次に、「森林資源の循環利用」の取組としては、三者による立木のシステム販売の取組を検討していま

す。これまでに、むかわ町と当署で設定した共同施業団地内外で、民有林と国有林が共同で立木の販売（民有林450立方メートル、国有林2,063立方メートル）を実施しました。この結果について、三者で現地検討会を開催し、意見交換を行ったところ、同じ流域の中に伐採量のみとまりができ、同一の路網を使用し、土場を一部共同利用したことにより、経費の削減が可能となることを確認しました。その結果を踏まえ、今後は北海道胆振総合振興局（道有林）も含めての立木販売に取り組みむことを検討しているところです。



森林に親しもう！（キーホルダー製作）

「木育の推進」の取組としては、山の日が制定されたことを記念して、8月11

日の山の日に木育イベント「森林に親しもう！」を開催しました。町内の子供たちと、町有林で枝打ち体験を行った後、丸太切り体験を行いました。また、穂別の街路樹に使われているメタセコイヤを使い、キーホルダーや髪留めづくりを行いました。大変好評を得たところです。

今後の取組

このように協定に基づく取組は多岐にわたるため、一度に全ての項目に対して取り組むことは困難ですが、ひとつひとつ確実に実績を積み重ねていくことにより、今後も地域の振興・再生に微力ながらも貢献していきたいと考えております。



協定を結んだ三者共同の山火事消火訓練（3名とも今年度の新規採用者）

こんにちは 森林官です!

左端が本人

十勝西部森林管理署 東大雪支署
糠平森林事務所
首席森林官 柴田 誠



糠平森林事務所は大雪山国立公園に位置し、約2万ヘクタールの国有林野を管理しています。隣接する三股森林事務所の森林官とも連携し合っており、計4名で日々の業務に当たっています。

○ 豊富な観光資源

当森林事務所が所在する上士幌町ぬかびら源泉郷は、来年の四月で開湯百周年を迎える伝統ある温泉地です。また、キャンプ場やスキー場、北海道遺産であるタウシユベツ橋梁など多くの観光資源を有しています。

○ 管内国有林の情報

キャンプ場やスキー場として国有林を貸付しており、各種レクリエーションの場として親しまれています。

ウペパサンケ山は、例年登山者で賑わいますが、平成28年の台風被害により、現在は



スキー場から望む糠平湖

登山道に通じる林道を閉鎖しています。

○ 森林の中での仕事

森林の中で各種調査や森林の見回りなどを行います。

調査には木の種類や直径・高さを記録し、森林蓄積を算出したり、自然災害による森林の被害状況を把握するなど、様々なものがあります。木の直径を測る輪尺、枝や藪を切り払うナタやノコなど、調査では山の現場らしい道具が多く登場します。

森林の見回りは常に行っており、森林の現状把握や異常の発見に努めています。貴重な野生動物との出会いもささやかな楽しみです。



輪尺で直径を測る

森林内での仕事は、刃物使用による怪我、ハチやヒグマとの遭遇など、多くの危険が伴うため、毎朝ミーティングを行い、一日の業務の流れと安全事項を確認してから出発します。また、単独での作業は行わないよう徹底しています。



冬：調査地へ向かう

○ 地域とのかかわり

糠平小学校で行う森林教室では、森林の魅力を伝えるとともに、私たちも子供たちから元気をもらっています。その他、地元の方からの要望や相談に対応するなど、地域とのかかわりを特に大切にしています。

○ おわりに

平成28年の台風により、管内の森林においても大きな被害を受けました。今後地域

の皆さんの声を聴きながら、できる限り早期の復旧を行っていきます。また、木質バイオマス利用の高まりを受けた未利用材の活用など、新たな取組にも積極的に挑戦していきます。

私たちの仕事は森林を歩き、森林を知ることから始まり、今後仲間と協力し合い、森林への知識と愛着を深めながら、適切な森林管理に努めていきます。



糠平小学校での森林教室



夏：調査地へ向かう

センター通信

森林技術・支援センター



森林技術・支援センターでは、森林・林業の技術開発に取組むと共に、その成果の普及や民有林支援にも力を入れていきます。

平成29年度に外部機関等の方々のご要望を受け入れて実施したいくつかの取組を紹介します。

他機関への支援

①占冠村人材育成プログラム(占冠村)

占冠村が平成28年度から進めている林業6次産業化事業の人材育成研修の一環として、当センターの技術開発成果の1つである「北海道型作業システム」(※1)について学習したいとの依頼を受け、自治体職員ほか事業体等12名を対象に講座を担当しました。

受講者の職種や年齢層がバラエティに富んでいたため、講座では素材生産における「作業システムとは何か」という基礎から導入し、路網配置による高効率・低コスト作

業の実例を説明しました。

②森林・林業技術、労働安全研修会(旭川市)

旭川地方森林整備事業協同組合の主催するCPD・技術者継続教育認定プログラム「平成29年度森林・林業技術並びに林業労働安全研修会」で、事業体の方々50名を対象に「低コスト林業への挑戦」技術開発の視点から」と題し、当センターの技術開発の各種取組内容と、林業事業体への期待等について講義しました。



講義の様子

③コンテナ苗現地研修会(木古内町)

渡島総合振興局東部森林室、檜山森林管理署等の主催のコンテナ苗植栽

現地研修会において、林業事業体等40名を対象に「コンテナ苗の効果の検証」(※3)について情報提供を行いました。

④木質バイオ集荷・効率化及び低コスト造林現地検討会(南富良野町)

上川南部署による各種作業効率化の取組現地検討会において、事業体等120名を対象に「低コスト再造林」天然更新活用型作業方法」(※3)を当該試験地にて説明しました。

試験地視察受入れ

当センターの「天然林樹種多様化更新」(※4)試験地に、上川総合振興局南部森林室の方々が視察に訪れました。試験地内を歩きながら、更新補助作業方法や条件の違いによる稚樹の更新・植生回復状況の違いを観察して頂きました。

南部森林室では、天然林資源を育成するため当試験地の成果を、今後の森林づくりの参考にしたとのことでした。



現地案内の様子

◇ ◆ ◆ ◆ ◆
以上、今年度の普及・支援業務の一端を紹介させて頂きました。今後もできる限り皆様からのご要望等にお応えしていきたいと思っております。

本稿の技術開発課題名

- ※1 「北海道型作業システム」を踏まえた路網作設に伴う林業生産コスト低減の検証」
- ※2 「北海道国有林におけるコンテナ苗の効果の検証」
- ※3 「北海道における低コスト再造林を旨とした天然更新活用型作業方法とその効果の検証」
- ※4 「天然林での樹種の多様化を図る更新方法の開発」各課題の内容は、当センターHPをご覧ください。



各地からの便り



みなさんの声を森林づくり

平成29年度国有林モニター会議

2月24日、北海道森林管理局大会議室において、平成29年度の国有林モニター会議を開催しました。



新島局長の挨拶

各地からモニター19名に参加いただき、北海道森林管理局や北海道の国有林などに対するご意見・要望などをそれぞれ発言いただきました。

北海道森林管理局では、国民の意見・要望を把握して開かれた「国民の森林」として国有林野の管理・経営を行うため、2年間を任期とする国有林モニターを、公募により全道各地の48名の方にお願ひしています。

主な意見・要望として、「国有林モニターを体験して、森林のレクリエーションや森林資源などについて興味を持った」、「現場を見て重要な仕事であることが分かったが、人手不足な感じがする」、「高校生のこともたちに、森林や林業のこれからの話を伝えていきたい」といったご意見や「企業の森林づくりなどが行われており、もっと企業の力を利用してはどうか」、「ごとも向けの企画があっても良い」、「モニターの間が二年間なのは短いのではないか」、「台風災害による林道の不通により登山できない山があるが、登山という側面だけでなくインバウンドの面でも大きな

口スなので行政が力を合わせて対応して欲しい」といったご提案をいただきました。また、「モニター終了後も自分のやれることは、協力したい」、「現地見学会が心に残った」、「広報誌を活用して仲間と情報の共有を図っている」、「質問に対する答えが丁寧でわかりやすい」などの感謝や励ましの言葉をいただきました、担当者として励みになりました。



国有林モニターの意見交換

国有林モニターを機に森林・林業についての意識が高まったとの意見も多く聞かれました。

今後、これらのご意見などを北海道森林管理局の業務運営に活かしてまいります。

(企画課)



定山溪地域の森から学ぶ森林づくり

「森づくり活動発表会」を開催

(石狩地域森林ふれあい推進センター)

2月22日に定山溪中学校において森づくり等に関する知識や技術の情報交換を目的として森づくり活動発表会を開催しました。当日は、2団体の法人等からの発表と定山溪中学校から2課題



森林整備部長の
開会挨拶

の森づくり活動について発表がありました。

開会にあたり主催者代表として石原森林整備部長から挨拶があり、水源の森を活動地として、定山溪中学校の生徒のみなさんが、色々な視点から観察、調査、森づくりに取り組んでいること、また、先日の「平成29年度北の国・森林づくり技術交流発表会」において、定山溪中学校の森

づくり活動や森林保全活動等について、生徒が大人顔負けの発表をし「奨励賞」を受賞されたことなどについて紹介しました。

参加団体からの活動報告終了後の、パネルディスカッションでは「もりを観察、学ぶ、育てる」と題して意見交換を行いました。

中学生の自然や森林に対する取り組み、札幌水源林整備事務所造成事業の面積の大きさ、自然の村の楽しそうな森林学習・体験等について活発な意見がたされま



パネルディスカッションの様子

冬の森林教室

(留萌北部森林管理署)

平成30年2月20日、遠別町立遠別小学校の3年生を対象に遠別町富士見ヶ丘公園で森林教室を開催しました。遠別森林事務所の高橋首席森林官から「森林管理署の仕事」について話した後、公園内を歩いたり、輪尺を使って樹木の胸高直径を測ったりして、森林管理署の仕事の一部と冬の自然を体験してもらいました。林内でエゾユキウサギの足跡と糞を発見し、目を輝かせていました。翌日の21日は4年生を対象に森林教室を開催しました。輪尺を使った胸高直径の測定と、樹皮の写真から樹種を当てる樹種判別ゲームを行いました。児童は、写真と実際に見比べる樹木は、同じ樹種でも樹皮の模様の違いがあることから、とても悩んでいました。

働きたいと思うてくれる人が出てくることを期待します。」と挨拶しました。児童からは「木の太さを測ったり、木の名前を教えてくださいませんか」とも楽しかったです。ありがとうございました。」とお礼の言葉がありました。



輪尺を使った樹木の直径の測り方の説明



首席森林官から森林管理署の仕事について説明

森林環境教室を開催

(西紋別支署)

平成30年2月26日、森林環境教育を実施しました。午前中は濁川小学校にて3年生から6年生を対象に、午後からは滝上小学校にて6年生を対象に行いました。この森林環境教育は、滝上町・滝上町森林組合・滝上林業協同組合と当支署で構成する「滝上みどりの森林(もり)推進協議会」が実施しています。

●濁川小学校

滝上町役場林政課小野主事から、森林の役割や滝上町の林業の歴史などについて説明があったあと、森林・林業クイズを行いました。クイズは、これまでの各フィールドでの体験学習や間伐現場の見学などからスライドを使って出題しました。

児童達から「クイズが面白くて、楽しく学べて良かった」といった感想がありました。



クイズに答える児童たち



クイズ「冬になると葉を落とすのはどちらでしょう？」

●滝上小学校

濁川小学校と同じように、小野主事から説明のあと、森林・林業クイズを行いました。半数以上の児童が15問中10問以上正解していました。これまでの学習内容が身に付いているのだと思います。一年を通じた森林環境教育の取組で、森林や林業のおもしろさが子どもたちに伝わったのではないのでしょうか。

**宗谷森林管理署が
新庁舎へ移転!**
宗谷森林管理署は、2月13日から新庁舎で業務を行っています。新庁舎は、木造軸組構法2階建てで、柱・梁等の構造材にはトドマツ、内装材・建具等にはナラ、カンバなどを使用し、木の良さを十分に生かした造りとなっております。



新庁舎 前景
移転先
稚内市港4丁目
6番6号
TEL(0162)
23-3617

もり
広報 「北の森林 国有林」 3月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70番
I P 電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>